

事業名:

毛馬桜之宮公園

所在地:

北区長柄東1・2丁目、天神橋1丁目、天満1～4丁目、天満橋1・2丁目、
都島区毛馬町1丁目、友渚町1丁目、善源寺町1・2丁目、都島本通1丁目、
中野町1・4・5丁目、網島町地内

目的:

毛馬桜之宮公園は、市内を南北に流れる大川の両岸に沿って広がり、北は国営淀川河川公園から南は大阪城公園や中之島公園に連続する、延長約4km、都市計画決定面積約32.3haの、リバーサイドパークとして整備を進めている「水都・大阪」を代表する総合公園である。

また、花見の名所として有名であるとともに、散策、休息、スポーツ、レクリエーションなど、幅広く市民に親しまれている。現在、未供用となっているエリアの園路広場、植栽等の整備を順次行い、区域拡張することで、上記公園機能だけでなく、災害時における広域避難場所等、防災公園としての機能充実を図る。

事業内容

・都市公園整備

公園整備面積: 約40.4ha

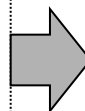
社会経済情勢等の変化

(調書 3 ①)

事業開始時1967年(S42)

現 在

- 事業規模 約36.8ha
- 総事業費 約61億円
- 事業完了 昭和45(1970)年度
- 人口 310.6万人
- 公園数 392カ所(S45年度)
- 都市公園の市民一人当たり面積
1.51㎡/人(S45年度)
- 公園事業費 約7億円



- 事業規模 約40.4ha
- 総事業費 約166億円
- 事業完了 平成35(2023)年度
- 人口 267.8万人
- 公園数 983カ所
- 都市公園の市民一人当たり面積
3.51㎡/人
- 公園事業費 約33億円



- ・前回評価時点(平成20年3月)に、事業認可区域面積の精査により、事業規模が約31.8haから約40.4haに増加した。
- ・本市の都市公園の市民一人当たり面積は3.51㎡/人(H25.4時点)で政令市平均6.6㎡/人の約半分となっており、政令市の中では最低値となっている。
- ・近年、地震等災害の多発や、ゲリラ豪雨等による都市型洪水への対応が課題となり、市民ニーズや防災ニーズが高まる中、公園事業の必要性、早期実現性は高まっている。

費用便益分析について

1. 費用便益分析の基本的な考え方（大規模公園費用対効果分析手法マニュアル）

- ・費用便益分析は、総費用に対する総便益の比率を評価尺度とする。
- ・費用は、公園整備費と、維持管理費を計測する。
- ・便益は、本マニュアルでは以下の2つの価値を計測する。
「直接利用価値」＝健康促進やレクリエーションの場や教育の場の提供など直接的に公園を利用することによって生ずる価値
「間接利用価値」＝都市の環境や景観の保全、都市防災など間接的に公園を利用することによって生ずる価値

2. 計測の前提

- ・計測する期間（プロジェクトライフ）は、50年間とする。
- ・計測された費用及び便益の金額は、現在の価値に換算する。このため、割引率（マニュアルでは4%）を用いて換算を行う。
- ・公園整備による価値の計測手法は、以下の2つの手法による。
「旅行費用法」：需要推計モデルをもとに、公園までの旅行費用（運賃＋時間価値）を利用して消費者余剰を推計することで、公園の直接利用価値を計測する。
「効用関数法」：公園整備を実施した場合としない場合の周辺世帯の望ましさ（効用）の違いを算出して、公園の間接利用価値を計測する。

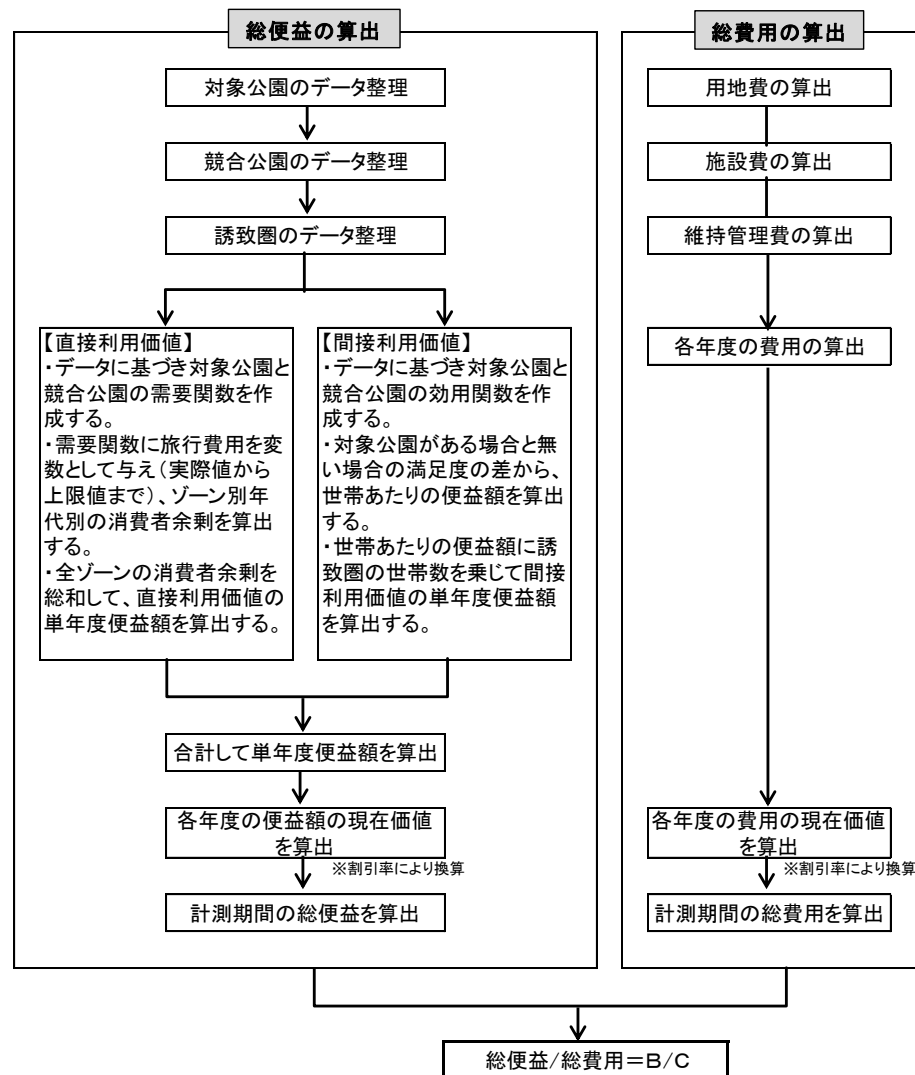
3. 費用の算定

- ・公園の整備費は、用地費と施設費とする。
- ・維持管理費は、マニュアル規定の参考値を準用して算出する。

4. 便益の算定

- 直接利用の計測方針
 - ・公園整備内容の違いを反映する。
 - ・周辺地域の公園整備状況や地域特性に応じて需要を導出する。
 - ・世代別に需要を導出する
- 上記の方針に基づく需要推計モデルを用い、誘致圏内の利用者の消費者余剰の総和を算出し、直接利用価値とする。
- 間接利用価値の計測方針
 - ・公園の整備内容の違いの考慮は最小限とする。
 - ・公園の価値は世帯ベースで計測する。
- 対象公園からの距離に応じた世帯満足度を推計する効用関数を用いて、周辺世帯の支払い意思額の総和を算出し、間接利用価値を計測する。

説明資料 1



毛馬桜之宮公園事業における費用便益分析結果について

1. 分析の前提条件

① プロジェクトライフ

平成20年（2008）から平成69年（2057）までの50年間

② 誘致圏

大阪市内全域



注：誘致距離が概ね10km程度（全国調査において総合公園は10km圏で累積利用率が73.6%となる）で、かつ交通インフラ及び情報インフラが十分に整備されている地域として大阪市内全域を誘致圏と設定した。

2. 評価対象公園データ

供用開始年度	2024年度
公園種別	総合公園
公園面積	約40.4ha
(整備費) 用地費	10,611百万円
(整備費) 施設費	5,794百万円
(整備費) 計	16,405百万円
維持管理費	126百万円/年

3. 競合公園データ

次の条件を満たす13公園を競合公園に設定した。

- ・現在供用中の面積約10ha以上の公園
 - ・広域的な利用が見込まれる大規模公園
 - ・誘致圏からの利用が見込まれる公園
- ※大阪市全域とした。

4. 費用便益分析結果

（単位：百万円）

総便益算定		総費用算定		
便益合計		費用合計		
261,099		用地費	施設費	維持管理費
		10,611	5,866	5,973
×割引率		×割引率		
便益の現在価値		費用の現在価値		
139,670		用地費※	施設費	維持管理費
		22,409	11,029	3,133
				総費用
				36,571
$\text{総便益} / \text{総費用} = 139,670 / 36,571 = 3.82$				

※現在価値はプロジェクト完了翌年に用地残存価値を控除

毛馬桜之宮公園事業における費用便益分析結果について

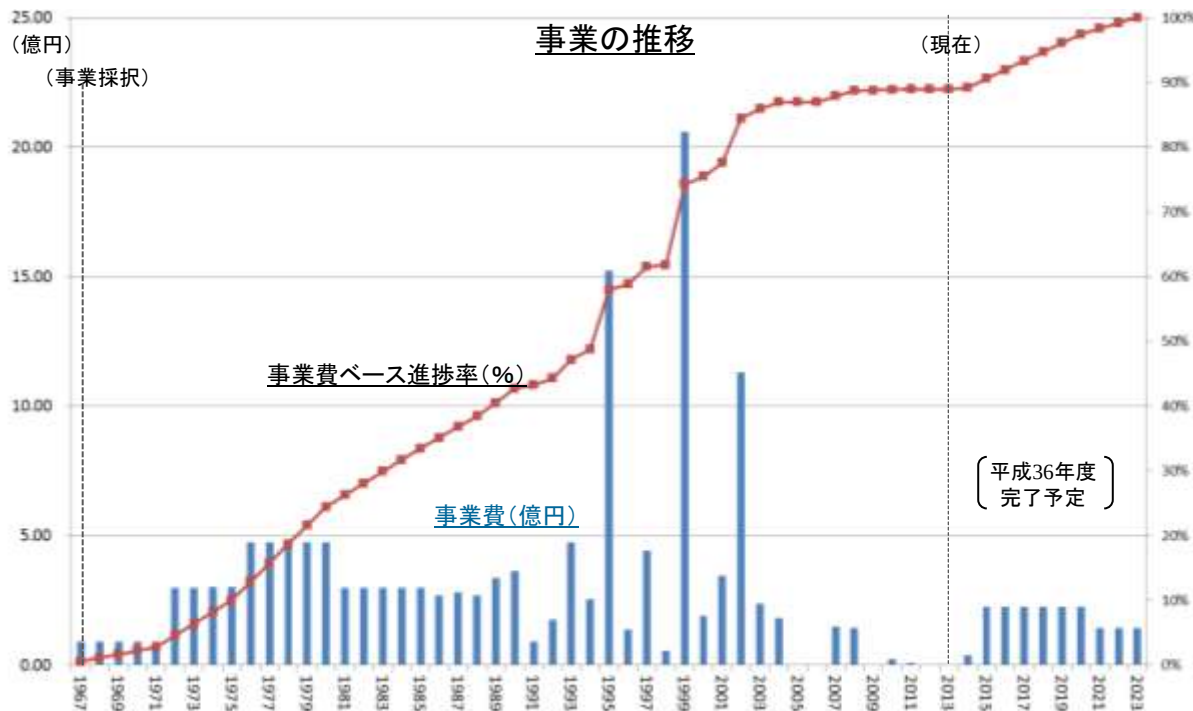
5. 競合公園データ詳細

	公園名		面積 (ha)	所在地
対象公園		毛馬桜之宮公園	31.4	大阪市北区天満ほか
競合公園	1	大和川公園	4.7	大阪市住吉区苅田ほか
	2	中之島公園	10.6	大阪市北区中之島
	3	城北公園	9.5	大阪市旭区生江
	4	大阪城公園	105.6	大阪市中央区大阪城
	5	八幡屋公園	12.4	大阪市港区田中
	6	千島公園	11.2	大阪市大正区千島
	7	天王寺公園	28.2	大阪市天王寺区茶臼山町
	8	鶴見緑地	119.6	大阪市鶴見区緑地公園
	9	南港中央公園	20.9	大阪市住之江区南港東
	10	長居公園	65.7	大阪市東住吉区長居公園
	11	靱公園	9.7	大阪市西区靱本町
	12	住之江公園	15.1	大阪市住之江区南加賀屋
	13	淀川河川公園	233.6	大阪市淀川区、東淀川区、福島区、北区、都島区、旭区ほか

事業の進捗状況、今後の進捗の見込み

(調書 4 ①～⑤⑦)

進捗率の推移



残事業の内容

- ・用地買収 約0.1ha(残0.2%)
- ・公園整備 約5.1ha(残12.6%)
- ・残事業費 約18.3億円

事業が遅延した原因とその状況

- ・本市の厳しい財政状況の中で新たな用地買収、施設整備に時間を要している。
- ・占用等の河川敷における権利関係の整理に時間を要している。

今後のスケジュール(見込み)

- ・完了予定年度は平成35年度(前回評価時点と同様)
- ・H25年度は不法占拠の解消した中野町4丁目区域において実施設計を行い、H26年度は園路広場工・植栽を予定

対応と解消の目途及びその根拠

- ・占用等の河川敷における権利関係の整理が完了した区域から施設整備を順次行う。

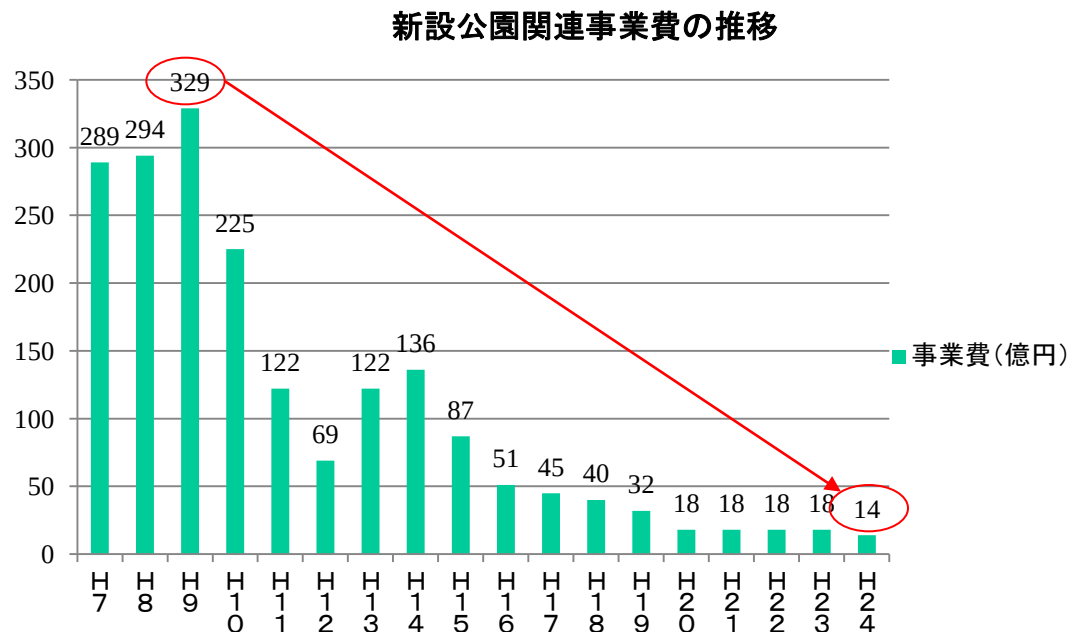
事業費の見込み

(調書 4 ①～⑤⑦)

局運営方針等における本事業の位置づけ

局運営方針等における、本事業の位置づけはない。

事業費の推移

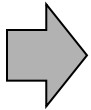


- ・H25年度は不法占拠の解消した中野町4丁目区域において実施設計を行い、H26年度は園路広場工・植栽工を予定
- ・H27年度以降は占用等の河川敷における権利関係の整理が完了した区域から施設整備を順次行い、平成35年度事業完了予定

コスト縮減や代替案立案等の可能性

(調書 4 ⑥)

•コスト縮減策、代替案(と将来見込み)



- ・現状を活かし、遊具等の設置ではなく、排水施設やフェンス等の最低限の施設整備による、公園の早期開設を検討する。
- ・縁石等の二次製品の積極利用による、施設整備費の低減と工期の短縮を図る。

事業が遅れることによる影響

(調書 5)

事業が遅延する理由(財政面以外)

- ・占用等の河川敷における権利関係の整理に時間を要している。

事業が遅延することで発生が予想される課題

(事業者の視点)

- ・市民へのサービスとして、レクリエーション空間や、避難場所を早期に提供できない。

- ・緑の基本計画の将来目標(都市公園等整備目標 7.0m²/人等)の達成が遅れる。

(利用者の視点)

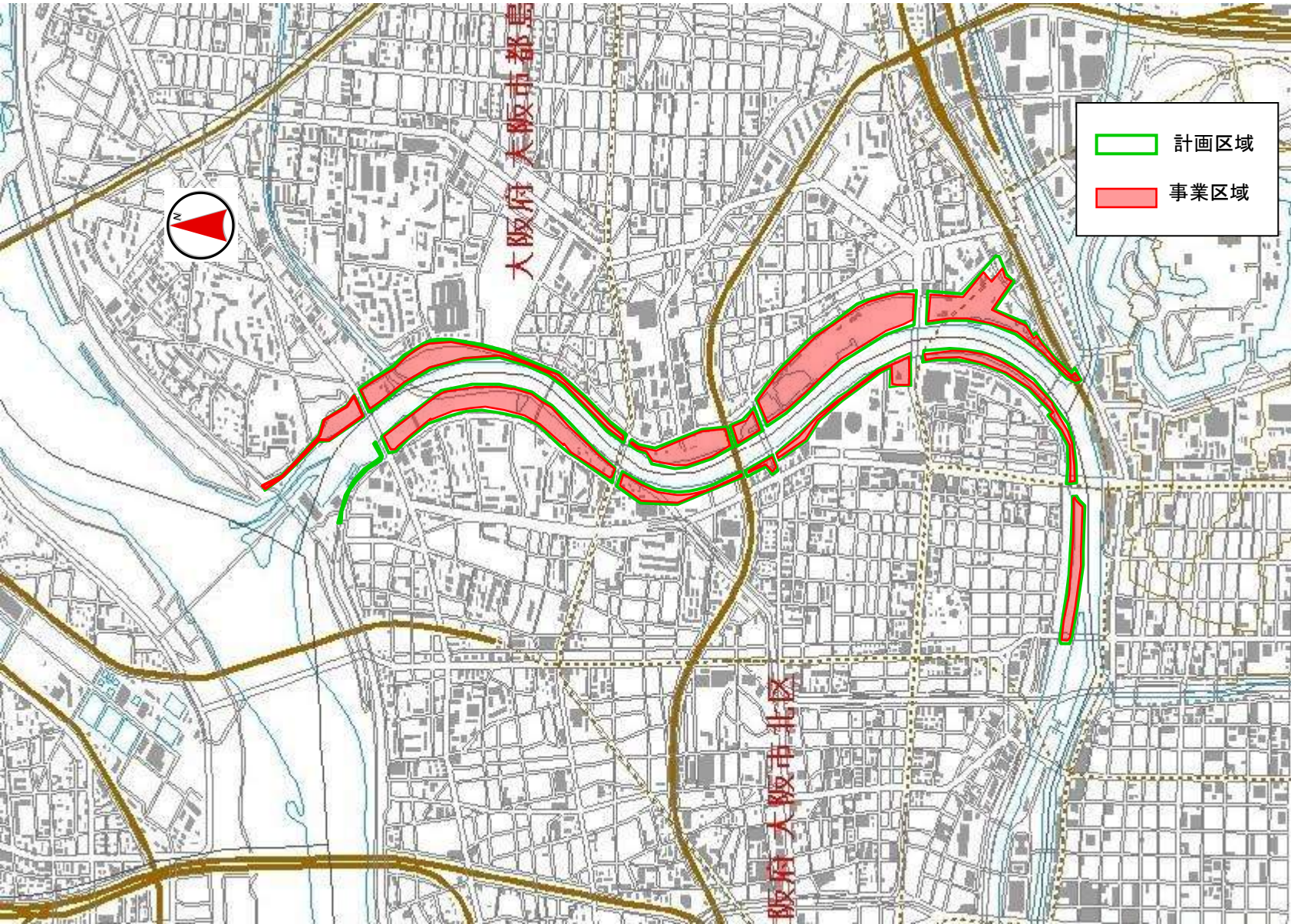
- ・早期にレクリエーション空間としての利用や、避難場所としての利用ができない。



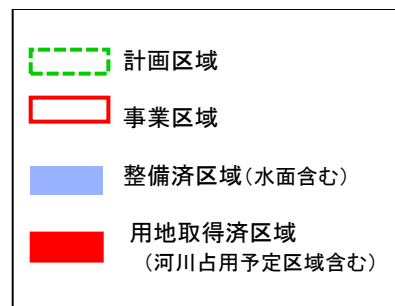
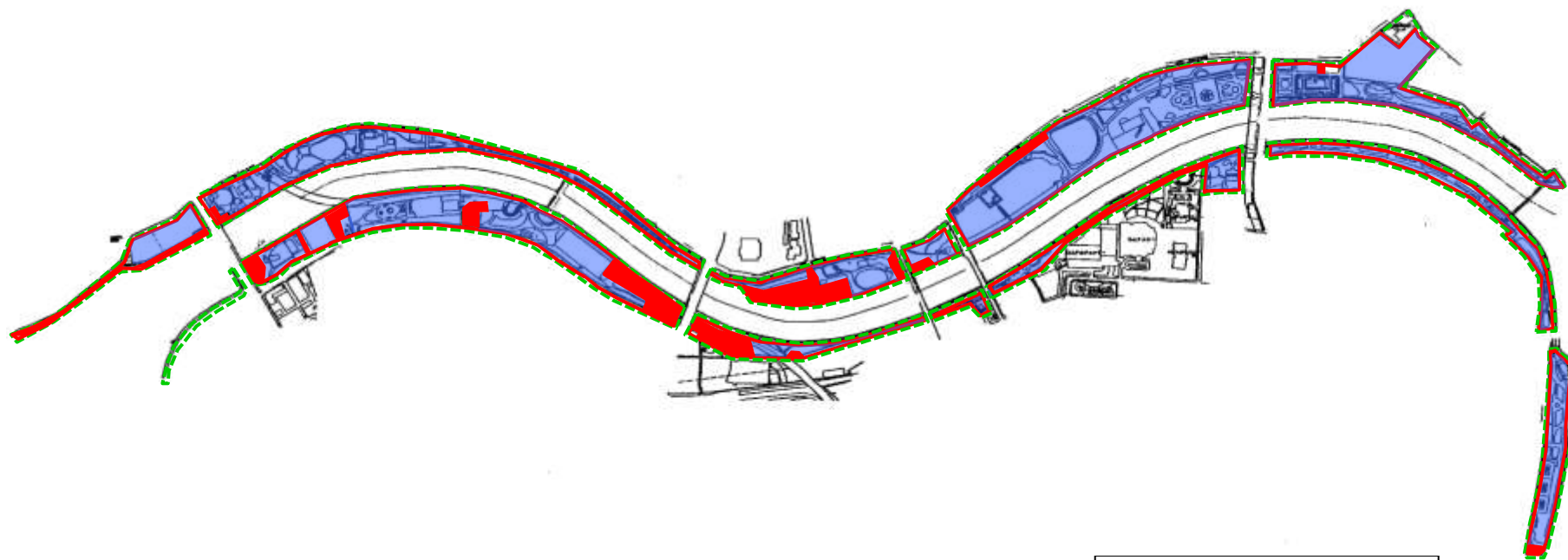
課題への対応

- ・今後占用等の河川敷における権利関係が整理できた区域の施設整備や、地権者の買取要望に応じた用地買収により事業を実施していく。

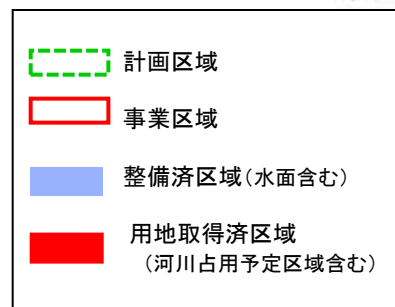
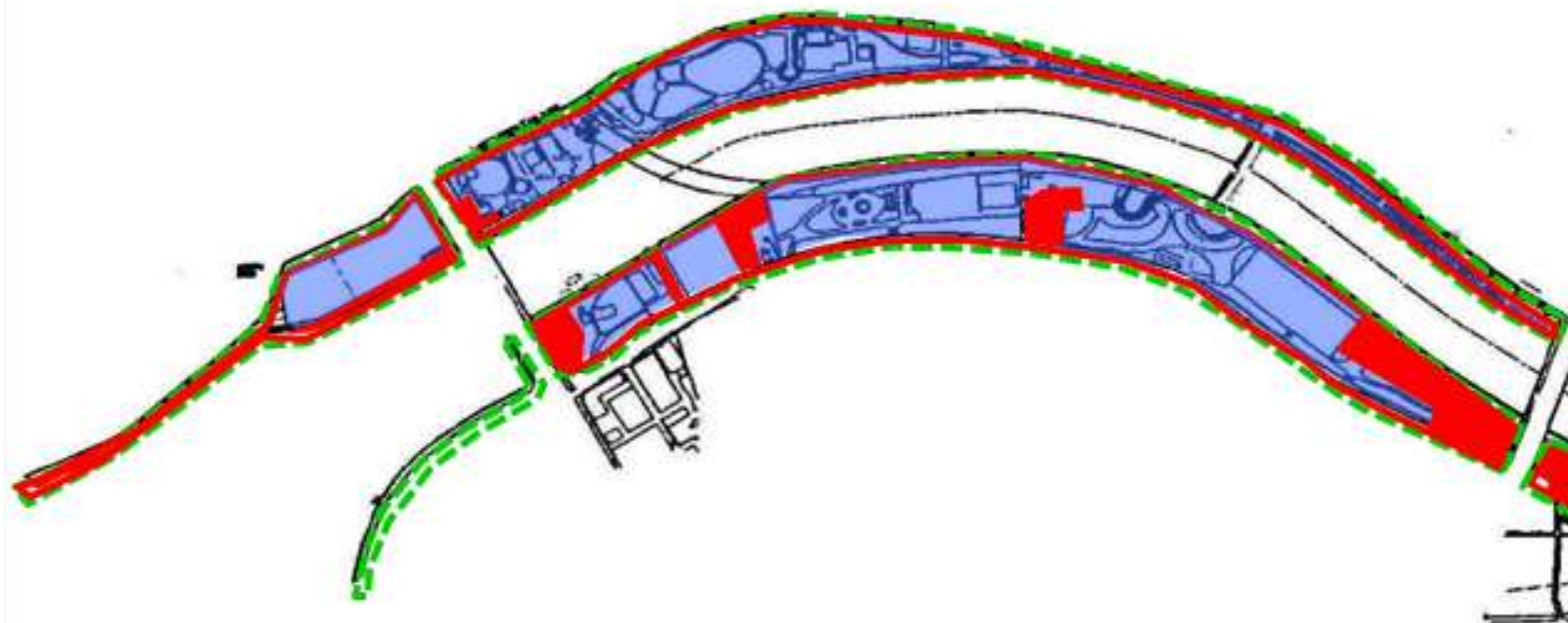
毛馬桜之宮公園 位置図



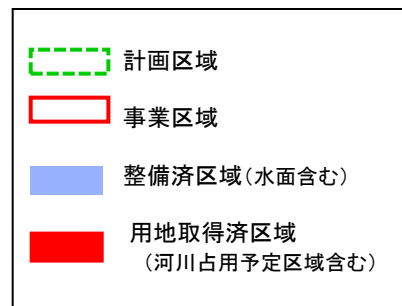
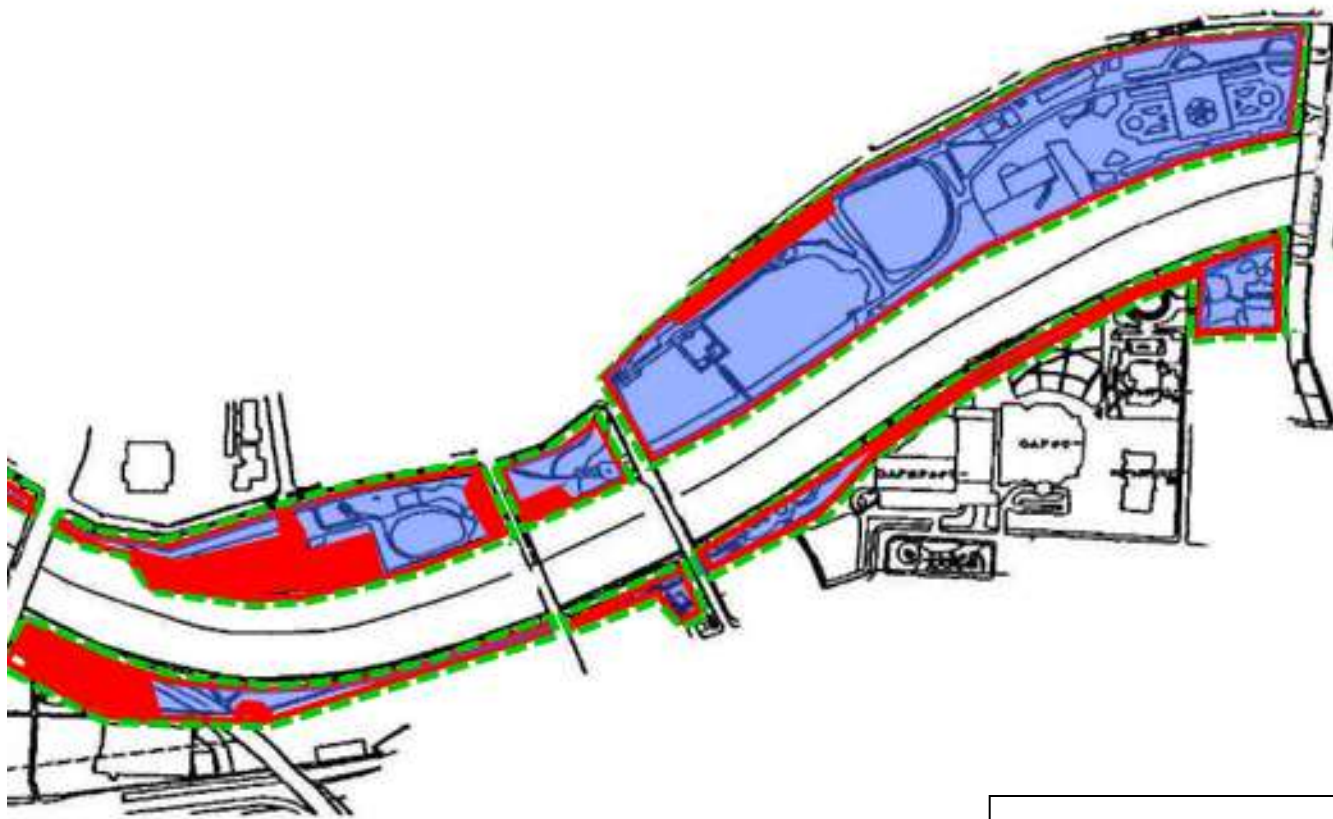
毛馬桜之宮公園事業の進捗(全体)



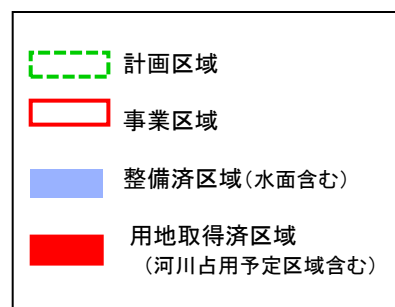
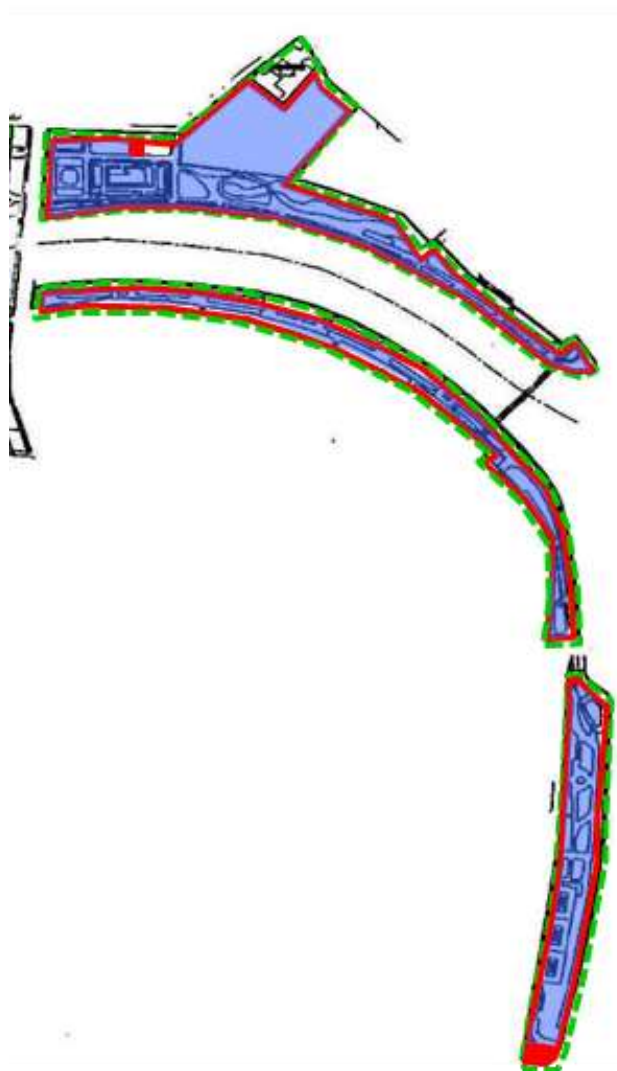
毛馬桜之宮公園事業の進捗(詳細1)



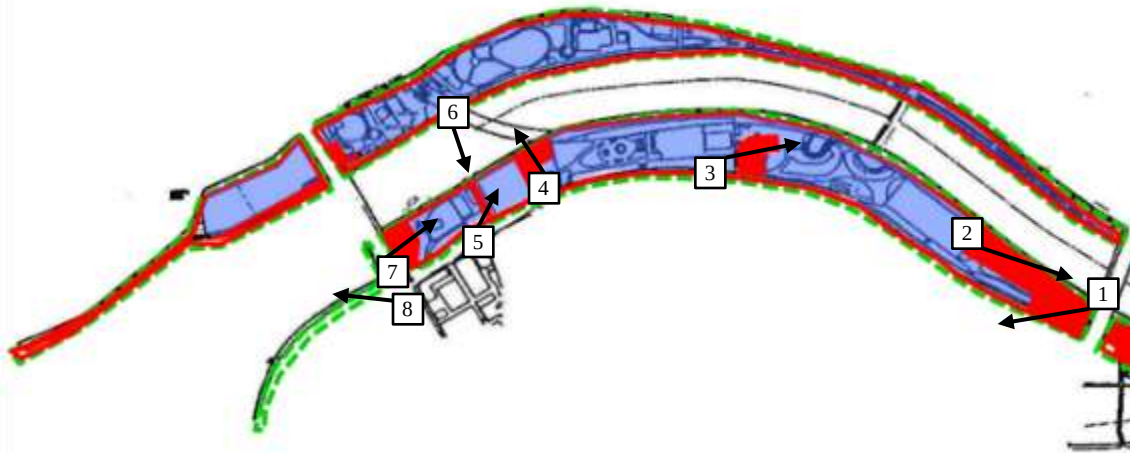
毛馬桜之宮公園事業の進捗(詳細2)



毛馬桜之宮公園事業の進捗(詳細3)



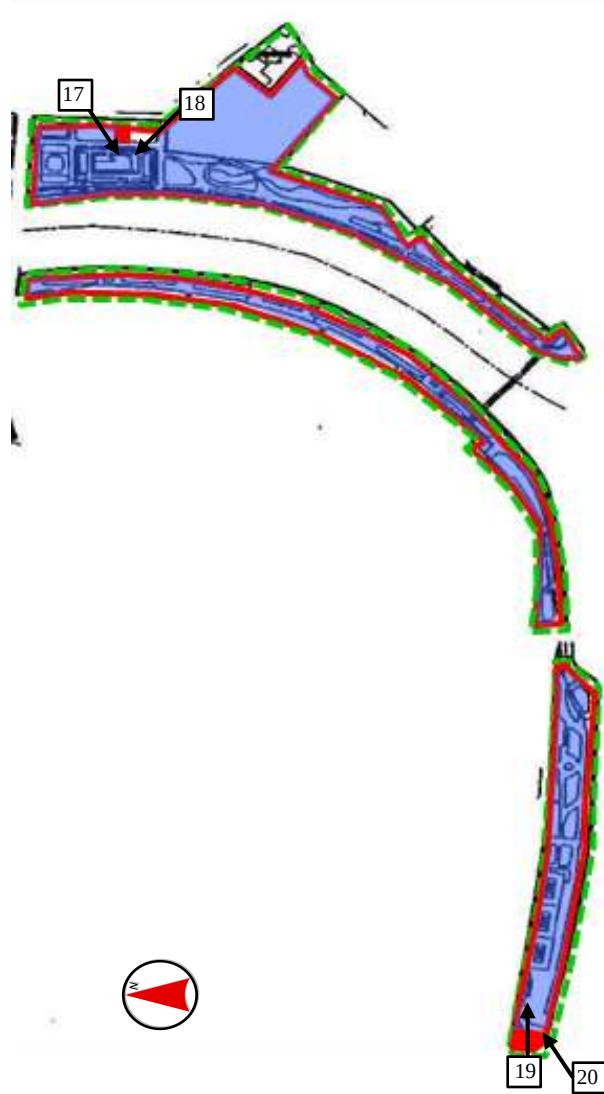
毛馬桜之宮公園事業現況図(未整備－1)



毛馬桜之宮公園事業現況図(未整備－2)



毛馬桜之宮公園事業現況図(未整備－3)



毛馬桜之宮公園事業現況図(整備済み)

